

CES 活動ニュース

1. 特別公開講座「ヒートアイランドの現状と対策」に関する講演会を実施します

本年度のCES環境啓発の一環として、[講演会]を開催することといたしました。

ご承知のように「ヒートアイランド現象」は、人や車、建物等が集中する都心部に発生する現象と云われますが、ここ千代田区内でも身近な課題となっています。

今回の講演では、ヒートアイランド対策の専門家である日本工業大学教授・三坂育正氏を講師にお迎えし、「ヒートアイランドの現状と対策」と題して、ヒートアイランド現象の原因や影響をご紹介しますとともに、その対策や具体的な事例等を解説して頂きます。

既に、千代田区広報、およびチラシ等によりお知らせしておりますが、是非この機会にご参加頂き、正しい対処法などを習得してください。

日時：8月5日(月) 午後6時から

場所：九段生涯学習館 6階 レクリエーションホール

お申し込み・お問い合わせは、CES推進協議会事務局まで。皆様のご参加をお待ちしております。



環境モデル都市・千代田で考える
ヒートアイランド対策

2. クラスⅡ活動に係る「新システム構築」検討委員会について

前月号でも紹介させていただきましたが、クラスⅡ活動にかかる「新システム構築」の検討委員会は、これまでに2回開催してきました。

この間に、一部の活動事業者(主)を対象に、予備調査を実施いたしました。その結果、活動の取組みや、環境に対する関心の高さを再認識することができました。

例えば、「町会ごとに活動実績を競わせる」、「環境配慮活動事業者(主)間の情報交換」など、これまであまり想像しなかったご意見を寄せていただきました。

今後、8月3日から20日頃まで、引き続き本調査を実施しますので、事業者(主)の皆様には、ご協力のほどをお願い致します。



3. クラスⅢ監査実施

7月1日から、千代田区の75課・施設を対象に、総括監査員のもと 監査員14名の監査チームが、CESクラスⅢの監査を行っています。既に、74課・施設の監査を終え、8月15日に終了する予定です。

今回、新たな取組みとして、昨年の監査結果や区が作成したCES活動マニュアルを基に、監査様式の整備や監査チェック項目の見直しを図りました。今後は、総括監査員を中心に監査結果をまとめ、千代田区のCES認証委員会に報告書を提出します。

暑い中、監査業務を担当された監査員の皆様、有難うございました。

4. さくら咲くプロジェクト実施報告

7月20日(土)環境と婚活のコラボレーションという新しい試みの事業、「さくら咲くプロジェクトー夏編1」が開催されました。参加者男性14名・女性13名、年代も20歳～50歳前半という、今までCESの事業では見られなかった若い層も取り込んで、環境啓発活動を行うことができました。

イベントは天候にも恵まれ、安全にイベントを開催することができました。

神田川、日本橋川、隅田川クルージングでは、ガイド説明による川の歴史を聞きながら、カップルで環境クイズを行いました。ホテルメトロポリタンエドモントでは、お茶とスイーツをいただきながら、ホテルの環境取り組みの話の伺いました。東京5社と呼ばれる神社のうち、縁結びで有名な東京大神宮では、せせらぎを見学しながら、境内に生息する生物のお話を伺い、参拝しました。

参加者からも楽しく学ぶことが出来た・川をきれいにしなければといった声をいただき、それぞれが環境についての知識を深めることが出来たようです。



神田川～日本橋川～隅田川クルージング



お茶・スイーツとともに話もはずみました



次回「さくら咲くプロジェクトー夏編2」は、8月28日(水)の開催です。

5. 第4回環境リーダー会を実施

7月10日(水)、区役所会議室で第4回環境リーダー会議を開催し、10名が参加しました。

それぞれが担当している事業の進行状況の報告や、「福祉まつり」の参加検討など意見交換を行いました。今後は「CES環境講座」や「ウォーキングプラスごみ拾い」の実施に向けて、準備していきます。

かんきょう

・・・節電の夏・・・

政府は、今年は電力が足りる見通しが付いたとして、節電の数値目標を掲げることを止めにしたそうです。多くの国民はホッとしていることでしょう。

ならば、この機会に自分だけの「節電目標」を定めて実践してみるのも価値があるのでは、という記事を見つけたので紹介します。

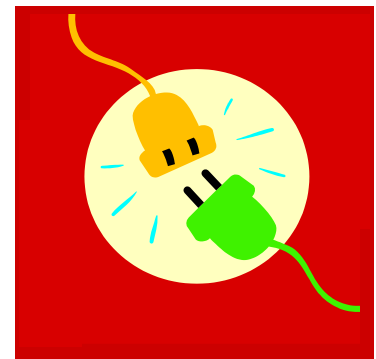
実は、「電力が足りる・・・」と云う見通しは、震災後2年間の節電実績を基に計算されるそうで、例えば、東京電力管内は、2010年比で10.5%、関西電力管内は、8.7%の節電を達成するのが前提になっているのだそうです。だから、震災前と同じように電力を使えばすぐにピンチになると云うわけです。

ご存知のように、電気代は上がっています、東京電力では、標準的な家庭の使用量（30アンペア契約、月額290キロワット時）の場合、1年前で7,000円だったのが、今は7,973円と1,000円（13%）ほど高くなっているとのこと。この場合の電気代を元の水準に戻すには、使用量を13%減らさなければならないわけです。

そこで提案・・・各家庭で使用している電気の「節電計画（目標）」に取り組んでみてはいかがでしょうか。「エアコンの設定温度を28度にする」、「冷蔵庫の設定温度を『強』から『中』にする」など、これだけで削減率12%になるそうです。

ちなみに、冷蔵庫は、家庭の消費電力全体の14%を占めているそうですが、冷蔵庫の隙間を5センチ程開け熱を逃がしてやると・・・年間45キロワット時で1,000円ほどの節約、「強」から「中」にすると62キロワット時で1,500円近くの節約になるそうです。

また「待機電力」は節電の敵だそうです、家庭の消費電力の5%を占めているそう。「テレビ」（待機電力全体の10%）、「水洗トイレの便座」など、主電源のプラグの差しっ放しを注意深く見ると、まだまだいろいろありそうです・・・広く目配りして、無理のない範囲で節電に取り組んでみてはいかがでしょうか。



（新聞記事から引用）

s k